

平成 19 年 11 月 15 日 災害医療・トリアージ研修

※ トリアージ(Triage)とは、災害医療において、多数の傷病者を緊急度と重症度により分別する方法です。

徳洲会グループでは TMAT(特定非営利活動法人)という災害医療協力隊を編成し、インドネシア・スマトラ沖地震や新潟県中越地震など数々の災害医療活動を行っております。

今回、山形徳洲会病院でも災害時に備え、初めて災害医療・トリアージ研修を行いました。講師には災害医療の経験が豊富な四街道徳洲会病院院長の原野和芳先生をお迎えしました。病棟の看護師をはじめ、全ての部署から 65 名が参加しました。



写真を交えながらの講義



原野和芳 院長

まずは実際に先生が医療活動を行ったスマトラ沖地震の写真や JR 福知山線脱線事故の事例を交えながらトリアージの基礎的な講義が行われ、その重要性を学びました。



特殊メイクによる怪我



緊張感のある迫真の演技

その後、実際に特殊メイクを施されたスタッフをトリアージしていくという実技訓練を行いました。メイクを施されたスタッフは迫真の演技で、緊張感のある訓練ができたのではないかと思います。実際にトリアージタグという識別票を使い、負傷者を 4 区分に分別する方法で行ったのですが、緊急時の限られた時間で分別しなければならない難しさを思い知らされました。



トリアージタグ



講評をいただきました

もしもの災害時に備え、トリアージ研修で学んだことを現場で活かせるよう、日々状況判断の目を養っていかねばならないと感じました。